

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

522-575

事務事業名	地方特定道路整備事業(小学校中村線)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	2	3	12	3	12,000
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	18新規	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等						
		事業期間	18	年度～	20	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	通過車輛、対象路線の通行者	通学児童数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			198			
		自動車交通量(台/日)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			1500			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
歩車分離による通過交通の安全確保。	進捗率(事業費ベース%)	18目標	32	最終目標		
		18実績	70	19目標	100	
		23目標		23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	本路線は、三日市場・中村地区の生徒が伊賀良小学校へ通学する指定道路であるが、現在、車道幅員も狭い上に歩道もなく、毎日生徒が危険な状況にある。このため、早期に改良を行い、歩行者・通行車両の安全を確保するものである。 市道1-34号小学校中村線 L = 100m W = 5.5(8.75)m	市道1-34号小学校中村線 ・工事施工 ・用地補償	施工延長	L = 70 m
	18年度の実績			
	19年度計画	市道1-34号小学校中村線 ・工事施工 ・物件補償	施工延長	L = 30 m

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	41,400	10,800
	その他		
一般財源	4,600	1,200	
事業費計(A)	46,000	12,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 400	19年度 400
	臨時職員等所要時間	12	12
	人件費計(B)	1,443	1,443
	トータルコストA + B	47,443	13,443

特定財源内訳や補足事項	地方特定道路整備事業起債
-------------	--------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	歩車道分離による、スムーズな交通の確保(利便性の向上)と安全性の向上 便利で安全に移動ができる	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路)	現状値	52.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	市内の移動に不便を感じる市民の割合(交通機関)	現状値	37.6	19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標			

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
三日市場・中村地区の生徒が伊賀良小学校へ通学する指定道路であるが、現在、車道幅員も狭い上に歩道もなく、毎日生徒が危険な状況にある。このため、早期に改良を行い、歩行者・通行車両の安全確保を図るため。	平成17年に、本路線に交差する街路熊野殿岡線が国道153号線まで開通となり、交通量が増加しており改良が急がれる。	地元自治会・PTAから強い要望がある。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)	
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		緊急な整備が必要とされている。	廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		歩車道分離による、スムーズな交通の確保(利便性の向上)と安全性の向上が図られる。	他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		幹線市道である。	効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	より経済的な工法を検討し、計画的に事業を進める。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	